

日時：2014年6月7日（土）15：30～18：45

場所：東洋大学6号館 第3会議室

出席者：浮谷秀一理事長、中村真副理事長、山崎晴美、渡邊芳之、家島明彦、二宮克美、松田浩平、尾見康博（大会準備委員長）

事務局：加藤司（事務局長）、太幡直也

委任：小塩真司

欠席：松田英子

日本パーソナリティ心理学会第112回常任理事会

報告事項

I 理事長挨拶

松山義則名誉会員の死去に伴い、理事長が追悼式に参列した。学会からは、弔電を送った。以上のことが報告された。

II 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（渡邊）

(1) 機関誌編集委員会の開催状況について

「パーソナリティ研究」第23巻第1号の掲載論文について審議した。次回は7月末～8月上旬に常任編集委員会を開催し、第23巻第2号の掲載論文について審議する予定である。

(2) 「パーソナリティ研究」の編集発行状況について

1) 「パーソナリティ研究」第22巻第3号の発行状況について

第22巻第3号が3月24日に発送された

2) 「パーソナリティ研究」第23巻第1号の発行状況について

第23巻第1号は以下の論文10本（原著3，ショートレポート7）が掲載予定である。7月中の発行を予定している。

論文番号	投稿番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
23-1-1	A-326	原著	うつ病アナログ群の特徴について-抑うつ連続性検討の観点から-	川本静香	2013/4/23	2014/1/14
23-1-2	A-314	原著	恋人への分離不安と愛情及び交際期間が恋人支配行動に及ぼす影響	片岡祥	2012/10/1	2014/3/6
23-1-3	A-316	原著	再確認傾向が対人ストレスイベント及び精神的健康に及ぼす影響	安部 主晃	2012/12/3	2014/3/18
23-1-4	S-248	ショートレポート	情動制御不全の諸側面と心配・社交不安との関連	高田圭二	2013/7/31	2013/11/29
23-1-5	S-241	ショートレポート	心筋梗塞患者の生きる姿勢が自己教育力と自己管理行動に及ぼす影響	花田妙子	2013/4/17	2013/12/4
23-1-6	S-254	ショートレポート	方略プロフィールと学習パフォーマンスの関連	梅本貴豊	2013/10/9	2014/1/14
23-1-7	S-252	ショートレポート	プライバシー意識尺度の作成	太幡直也	2013/10/9	2014/2/13
23-1-8	S-260	ショートレポート	自由意志・決定論尺度(The Free Will and Determinism Plus Scale; FAD+)日本語版の作成	渡辺匠	2013/12/17	2014/3/18
23-1-9	S-243	ショートレポート	自己注目が失敗からの心理的成長に与える影響 -自尊感情および自己価値の随伴性を媒介として-	新延 知美	2013/5/16	2014/3/18
23-1-10	S-246	ショートレポート	小学校教師のバーンアウトと過剰適応傾向との関連——問題行動児にも注目して	水澤 慶緒里	2013/6/4	2014/3/24

3) 「パーソナリティ研究」第23巻第2号以降の編集状況について

現在、採択論文は4本（原著1，ショートレポート3）ある。審査中論文は46本，うち修正採択修正中が4本である。

昨年までの投稿数の減少などから採択される論文が少ない状態が続いており，採択状況によっては第2号の発行時期が遅れる可能性もある。

(3) 投稿状況，審査状況について

1) 投稿状況について

年	月	原著	資料	ショートレポート	展望他	合計	備考
2013	6	2	0	1	0	3	
	7	0	0	3	0	3	
	8	2	廃止	0	廃止	2	投稿種別変更
	9	2	廃止	1	廃止	3	
	10	6	廃止	5	廃止	11	
	11	2	廃止	3	廃止	5	
	12	4	廃止	3	廃止	7	
2014	1	2	廃止	4	廃止	6	
	2	3	廃止	4	廃止	7	
	3	6	廃止	3	廃止	9	
	4	6	廃止	4	廃止	10	
	5	1	廃止	0	廃止	1	
合計		36	0	31	0	67	

2) 審査状況について

年月	採択	要修正再審査	不採択	投稿取下	備考
2013/6	0	7	2	1	
7	0	11	1	0	
8	1	6	2	0	
9	2	9	0	0	
10	5	8	2	0	
11	4	12	2	0	
12	1	8	0	1	
2014/1	2	6	0	1	
2	1	9	4	0	
3	5	15	4	1	
4	1	5	2	0	
5	3	5	0	0	
合計	25	101	19	4	

(4) その他

1) 「二重投稿」問題への対応について

本誌に掲載された論文のひとつが二重投稿ではないかという指摘があり、常任理事会および編集委員会で対応した結果、誤解を生じさせた個所に関して、訂正を出すことにした。

2) 掲載論文のデータ公開について

公開できるよう検討中である。

2 経常的研究交流委員会（二宮）

(1) 事業計画

1) 第23回大会開催時における委員会企画シンポジウム

① パーソナリティによる反社会的行動の説明—その限界と可能性—

司会：吉澤寛之（岐阜大学）・佐藤広英（信州大学）

話題提供：酒井厚（山梨大学）、大隅尚広（広島修道大学）、中川知宏（近畿大学）

指定討論：永房典之（新渡戸文化短期大学）

② 現代青年における友人・異性との関係はどのようなものか—行動の背後にある動機に着目して—

司会：畑野快（日本学術振興会／京都大学）・中谷陽輔（同志社大学）

話題提供：石本雄真（立命館大学）、本田周二（島根大学）、谷口淳一（帝塚山大学）

指定討論：岡田努（金沢大学）

2) 大会開催時以外の時期のシンポジウムについて

2015年2月から3月頃を予定。（企画募集中）

(2) 新委員委嘱について

下記の5名の新委員（第23回大会終了時から26回大会まで）が提案され、承認された。
鈴木公啓（東京未来大学）、中山真（鈴鹿短期大学）、服部陽介（京都学園大学）、二村郁美（名古屋大学）、堀内由樹子（お茶の水女子大学）

3 広報委員会（家島）

(1) YPP2014

日程：2014年10月3日（金）15時から18時

場所：山梨県地場産業センターかいてらす

委員：野崎優樹（京都大学）、市川玲子（筑波大学）、檜原潤（東京大学）、澤山郁夫（大阪大学）、担当広報委員より：木戸彩恵（立命館大学）、並川努（新潟大学）、渡部麻美（東洋英和女学院大学）、川本哲也（東京大学）

1) 企画内容

研究発表と発表された研究についてのディスカッション、各自の研究の振り返りと共有

(2) 大会企画

題目：感情と動機づけをめぐって

司会：梅本貴豊（名古屋大学）

話題提供者：大芦治（千葉大学）、戸梶亜紀彦（東洋大学）、村上達也（筑波大学）

指定討論者：速水敏彦（中部大学）

4 国際交流委員会（代理：事務局長）

特になし

5 学会活性化委員会（代理：中村）

(1) 優秀大会発表賞関係

詳細な日程が報告された。

(2) 中堅会員向けの賞

中堅会員を対象とした大会発表に対する賞を検討していることが報告された。

(3) シンポジウムの企画は中止することになった

6 各種電子化検討小委員会（松田浩平）

現状が報告された。

7 選挙規程検討小委員会（中村）

なし。

8 学会20年史編纂委員会（渡邊）

順調に原稿が集まっている。

9 論文賞創設小委員会（中村）

(1) 「論文賞」(案) が報告された

名称：「日本パーソナリティ心理学会論文賞」

対象論文：「パーソナリティ研究」に掲載された「原著」および「ショート・レポート」

審査者：学会の理事で構成する「論文賞選考委員会」を組織し、選考する。

10 その他

事務局長によって選挙管理委員会を立ち上げることが提案され、承認された。

III 日本心理学諸学会連合

1 日本心理学諸学会連合について（浮谷）

国資格「公認心理師」の進展状況について、報告された。

6月に通常理事会があり、次回にその報告をする。

2 心理学検定について（浮谷）

8月10日に実地することが報告された。締め切りは6月10日である。

IV 事務局報告（加藤）

審議事項にて。

V 第23回大会準備状況について（尾見）

現状では、予約参加191名、発表118件であることが報告された。

発表締切6月8日、原稿締切6月15日であることが報告された。

赤字の際には、準備委員長から説明がなされ、その後、常任理事会で審議し、必要に応じて、学会が負担することを改めて確認された。

VI その他

なし。

審議事項

I 2014年度予算、2013年度決算の件（山崎）

2014年度予算（案）、2013年度決算（案）が提出され、修正のうえ、次回に検討することになった。

II 第111回常任理事会議事録承認に関する件（加藤）

承認された。

Ⅲ 新入会員に関する件（加藤）

1 ML 承認済み

38 名が追認された

(3) ML 未承認・新規

3 名が承認された。

2 年会費未納につき退会

36 名の退会について承認された。

以上の承認を受けて、6 月 6 日現在、会員総数は 924 名である（一般会員 621 名、院生会員 290 名、学生会員 5 名、名誉会員 7 名、賛助会員 1 名）。

Ⅳ その他

次回は東洋大学 8 月 18 日 15 : 30 から開催する予定である。